

別府港県営3号上屋等 将来ビジョン

施設の今後のあり方

廃止

理由

別府港再編計画により、現在、指定管理を行っている施設を撤去・解体

- ①新ターミナル建設に伴い、別府港県営3号上屋を解体（令和10年度以降）
 - ②第2・第3機械管理駐車場は撤去（令和8年度以降）
 - ③臨港道路拡幅のため、緑地の一部撤去（令和3年度以降）
- ※第1駐車場、緑地残地については直営での管理を検討

目指す
施設像

九州の東の玄関口として、利用者が利便性や快適性を感じられる施設、イベント会場等として利用できる施設

※フェリー大型化により、フェリーさんふらわあが仮上屋へ移動するため、令和5～6年度は、イベント会場等としての利用のみ

目指す
利用者像

フェリー利用者、イベント等参加者

※令和4年度:別府～大阪航路利用者
令和5～6年度:イベント等参加者のみ
令和7～9年度:別府～八幡浜航路利用者

定量的目標
達成指標

①県営3号上屋の活用による一般参加が可能で30人以上の利用があるイベントの開催数の増

R4_95回 R5_100回 R6_100回 R7_100回
R8_100回 R9_100回（現状…70回）

②県営3号上屋の活用による一般参加が可能でイベント参加者が100人以上となる日数の増

R4_45日 R5_50日 R6_50日 R7_50日
R8_50日 R9_50日（現状…19日）

定性的目標
達成指標

①施設の利便性、快適性の向上のため、県営3号上屋内の最低限の改修を実施

②新しい上屋建設に向けた集客イベントのトライアルの場とするため、地元を巻き込んだ新しいイベントの誘致

主な課題と解決策

【課題】

①施設管理に関する課題

・県営3号上屋が九州の東の玄関口として、おもてなしの雰囲気づくりが出来ていない

②施設内のスペースの活用に関する課題

・2階のスペース、及びフェリー利用者不在期間中の1階のスペースの活用方法

③別府港のにぎわい創出に関する課題

・再編する新たな別府港のにぎわい創出の具体的検討が必要

【解決策】

①県営3号上屋内の最低限の改修の実施

・古く統一感のない1階のリーフレット置場をビジネスマンや旅行客が使用するコワーキングスペースに改修
・古く統一感のない2階の物産ショーケースと階段や壁の統一感のない古い写真の撤去
・適正に案内が出来ていない案内サインの改修 等

②広い空間を生かしたイベントスペースとしての活用

・現在のe-スポーツ、フリーマーケット等のイベント使用に加え、広い空間を生かしドローンやフレスコボール等の室内練習場としての使用

③にぎわいづくりに向けたアイデアの磨き上げ

・PFI事業実施までに、改めて地域の若手経営者やPFI事業に興味を持つ民間事業者等から魅力的なにぎわい創出に関する意見聴取を行うとともに、別府港にぎわい施設等検討会議等において議論